



多摩モノまつり 装備品展示車両に釘付け！



また、広報ブースでは、自衛官募集相談員の方にもご協力いただき、スムーズに幅広い年齢層に対して細やかな広報を実施すると、装備品の写真パネル展示、迷彩服試着体験に列が出来るほど大人気で、日頃出来ない体験に多くの方が歓声を上げるなど、終始笑顔が溢れる会場となった。

立川出張所は、今後も地域に密着した募集・広報活動を部隊等と連携しながら実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高めて、自衛官募集業務に繋げていくこととする。

会場では、来場者を装備品「化学防護車」と「除染車」が出迎え、装備品の前で記念撮影を実施した。また、車両の後方には、00式、18式個人用防護装備として防護マスク等も展示され、子どもたちが興味津々に近づいたり、手に取ったりしていた。

自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は11月16日、多摩都市モノレール車両基地で開催された「多摩モノまつり2024」で「動く車大集合」の企画に第1特殊武器防護隊の支援を受けて参加した。当日は、曇り空であったが、会場には10時の開催と同時に大勢の来場者が訪れて賑わいを見せた。



東京地本創立68周年記念行事を開催



自衛隊東京地方協力本部（本部長 横田陸将補）は11月23日、グランドヒル市ヶ谷において、平将明衆議院議員、松原仁衆議院議員、佐藤正久参議院議員代理、湯澤一貴様をはじめ、協力団体会員等152名の招待者をお迎えし、自衛隊東京地方協力本部創立68周年記念行事を開催した。

本記念行事のテーマは、本年度は、安保3文書施行2年目であり、昨年度に強化した部内外の「One Team」を基盤として確実に成果を得ることが求められることから、東京地本長の要望事項でもある「熱意と創意」をもって行う、突破における部隊運用「突破口の形成」をモチーフとして、「Make a Breakthrough」を「熱意と創意」に定めた。

当日は、募集・援護・予備自業務等、東京地本の業務推進に貢献された皆様への感謝状贈呈式（個人32名及び19団体）を実施した後、記念式典を肅々と挙行するとともに、プロモーションビデオ上映、職員への趣向を凝らした余興、招待者と職員合わせて約200名による「栄光の架橋」の大合唱等を取り込んだ祝賀会食を実施し、盛況のうちに68周年記念行事を終えた。

東京地本は、今後もあらゆる機会を捉え協力団体等との絆を大切に、任務に邁進していくとしている。

